

水俣条約発効による最新の水銀に関する規制と対応技術を学ぶ

～平成 29 年(2017 年)8 月 16 日水俣条約発効をビジネス機会に～

平成 29 年(2017 年)5 月 18 日付けで、「水銀に関する水俣条約」の締約国数が 50 か国に達し、規定の発効要件が満たされたため、本条約は本年 8 月 16 日に発効した。それを受け、日本では国内法である「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」(略称:「水銀汚染防止法」)の制定、および関係法令の改正が行われた。

本セミナーでは、水銀除去の現状と今後、特に水銀規制をビジネスチャンスと考える視点を、IHテクノロジーの幾島賢治氏にお話しいただく。さらに水銀処理の最前線で活躍されている野村興産の岩瀬博樹氏に水銀関連法令として廃掃法の施行令改正を中心にお話しいただく。

技術に関しては、愛媛大学 八尋秀典氏に、最新の研究動向全般を、岐阜大学 神原信志氏に燃焼プロセスにおける水銀発生機構と除去技術に関するお話を、ダイソーエンジニアリング 菅伸治氏には具体的な技術として、大気・排水中の水銀除去技術についてダイソーエンジニアリングの菅伸治氏にお話しいただく。

開催日時	2017 年 12 月 8 日(金) 10:00~16:00	【会場】
受講料	55,000 円(税込) ※資料代金・弁当代金 * メルマガ登録者 49,000 円(税込) * アカデミック価格 35,000 円(税込)	中央大学 駿河台記念館 3F 350 会議室 〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台 3-11-5

★ 2 名以上同時申込で申込者全員メルマガ会員登録をしていただいた場合 2 人目以降はメルマガ価格の半額です。

★【セミナー対象者】 水俣条約発効後の新法制・変更に関心のある方、水銀除去技術の全般に関心のある方

★【セミナーで得られる知識】 1) 水俣条約発効後の新法制・変更内容、2) 水銀除去技術の全般、3) ビジネス機会のヒント

【セミナープログラム】

講演1 水銀除去の現状と今後 幾島 賢治 氏 (IHテクノロジー 専務取締役)	10:00~11:00
簡易で安価で、石油製品に含まれる水銀化合物(有機・無機・イオン)を常温、常圧で除去できる水銀除去装置を開発し、既に国内で 20 基が稼働している。現在、オマーンの天然ガスからの水銀除去を現地で実証実験をしている。	
講演2 水俣条約発効に伴う廃掃法施行令等の改正と水銀廃棄物の適正処理 岩瀬 博樹 氏 (野村興産 営業部グループ長)	11:00~12:00
水俣条約発効に伴う廃掃法施行令等の改正について解説するとともに、水銀廃棄物の適正処理のために事業者が対応すべき点について説明する。	
講演3. 石油中の水銀除去技術の研究最前線(研究分野の現状) 八尋 秀典 氏 (愛媛大学大学院理工学研究科 物質生命工学専攻 教授)	13:00~14:00
水溶液中からの水銀除去は安価で簡便な吸着法が利用されており、その報告例は多い。本講演では石油製品中の水銀を吸着法で効率よく除去するために必要な吸着剤の特性および技術について、水溶液中の水銀吸着除去法との比較を交えながら概説する。	
講演4. 燃焼プロセスにおける水銀発生機構と除去技術・最新装置動向(仮題) 神原 信志 氏 (岐阜大学 次世代エネルギー研究センター センター長/教授)	14:00~15:00
石炭や廃棄物を燃焼した時の水銀のプラント内分配挙動および水銀排出濃度の予測手法について解説する。また、水銀除去に関する最新の研究および装置開発の動向を紹介する。	
講演5. 大気・排水中の水銀除去技術 菅(かん)伸治 氏 (ダイソーエンジニアリング 取締役)	15:00~16:00
当社が親会社より引き継いだ気相または液相中の水銀除去技術を環境対策や有用物のリサイクルに展開した実例を説明する。併せて改正大気汚染防止法に対応するためのアイデアを紹介して、受講者の理解を深める。	

弊社記入欄	セミナー申込書		
セミナー名	水俣条約発効による最新の水銀に関する規制と対応技術を学ぶ		
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、 登録希望の場合は○↓	会社名(団体名)	TEL :	
	住 所 〒	FAX :	
		E-mail :	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
		氏 名	
お支払方法	銀行振込・その他	お支払予定	2017 年 月 日頃

■申込方法: セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (re@cmcre.com) でお申し込みください。

■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません。ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

■申込先 : ㈱シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町 2-7 TEL03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789

※表面より続く。お申し込みは表面をご覧ください。

2017年12月8日(金)開催
水俣条約発効による最新の水銀に関する規制と対応技術を学ぶ
～平成29年(2017年)8月16日水俣条約発効をビジネス機会に～
《プログラム詳細》

講演1 水銀除去の現状と今後

10:00～11:00

幾島 賢治 氏 (IHテクノロジー 専務取締役)

簡易で安価で、石油製品に含まれる水銀化合物(有機・無機・イオン)を常温、常圧で除去できる水銀除去装置を開発し、既に国内で20基が稼働している。現在、オマーンの天然ガスからの水銀除去を現地で実証実験をしている。

【略歴】

昭和49年東京電機大学卒業
昭和49年太陽石油(株)入社
平成10年東京工業大学から工学博士授与
平成23年IHテクノロジー入社

講演2 水俣条約発効に伴う廃掃法施行令等の改正と水銀廃棄物の適正処理 11:00～12:00

岩瀬 博樹 氏 (野村興産 営業部グループ長)

水俣条約発効に伴う廃掃法施行令等の改正について解説するとともに、水銀廃棄物の適正処理のために事業者が対応すべき点について説明する。

【略歴】

1998年 3月 明治学院大学 国際学部卒業
1998年 4月 野村興産株式会社 入社 業務部に配属される
2014年 6月 野村興産株式会社 営業部営業課 課長
現在に至る

講演3. 石油中の水銀除去技術の研究最前線(研究分野の現状)

13:00～14:00

八尋 秀典 氏 (愛媛大学大学院理工学研究科 物質生命工学専攻 教授)

水溶液中からの水銀除去は安価で簡便な吸着法が利用されており、その報告例は多い。本講演では石油製品中の水銀を吸着法で効率よく除去するために必要な吸着剤の特性および技術について、水溶液中の水銀吸着除去法との比較を交えながら概説する。

【略歴】

昭和62年九州大学大学院総合理工学研究科材料開発工学修了。博士(工学)。
昭和62年宮崎大学工学部助手着任。その後、北海道大学触媒化学研究センター助手、広島大学工学部助手、愛媛大学大学院理工学研究科助教授を経て、平成17年より現職。現在、愛媛大学工学部長を拝命(平成30年3月まで)

講演4. 燃焼プロセスにおける水銀発生機構と除去技術・最新装置動向

14:00～15:00

神原 信志 氏 (岐阜大学 次世代エネルギー研究センター センター長/教授)

石炭や廃棄物を燃焼した時の水銀のプラント内分配挙動および水銀排出濃度の予測手法について解説する。また、水銀除去に関する最新の研究および装置開発の動向を紹介する。

【略歴】

昭和61年3月 群馬大学大学院 工学研究科化学工学専攻 修士課程修了
昭和61年4月 出光興産(株)入社
平成5年3月 群馬大学大学院 工学研究科生産工学専攻 博士後期課程修了 博士(工学)
平成15年5月 岐阜大学助教授(工学研究科環境エネルギーシステム専攻)
平成25年6月 岐阜大学教授(工学研究科環境エネルギーシステム専攻)

講演5. 大気・排水中の水銀除去技術

15:00～16:00

菅(かん)伸治 氏 (ダイソーエンジニアリング 取締役)

当社が親会社より引き継いだ気相または液相中の水銀除去技術を環境対策や有用物のリサイクルに展開した実例を説明する。併せて改正大気汚染防止法に対応するためのアイデアを紹介して、受講者の理解を深める。

【略歴】

1984年京都大学大学院工学研究科修了
同年 大阪曹達(株)(現大阪ソーダ)入社
2013年ダイソーエンジニアリング(株)に出向

※お申し込みは表面をご覧ください。